

丹後園だより

第96号 令和6年4月発行
発行：社会福祉法人丹後福祉会
広報作成委員会

TEL：0772 (74) 9888 FAX：0772 (74) 0027



共助の気持ちを大切に

はじめに、1月1日に能登半島地震により大変な年明けとなりました。亡くなられた皆様に心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞い申し上げます。3か月が経過しましたが、大きな地震であったため思うような復旧が出来ず、多くの皆様が大変なご苦勞をされています。一刻も早い復興ができることを願っているところです。

大きな災害があったときは、家族や自らの命を守ることと同時に、地域の皆さんが共助の精神を持ち、助け合いの行動をとることが大切であり、地域の福祉施設としての丹後園の役割も大きいと考えています。丹後園では事業継続計画（BCP）を作成し、非常時の場合にご利用者への継続したサービスの提供と、地域の皆さんへのご支援をさせていただけるよう日頃からの備えを行っているところです。

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化に伴う家族構成の変化、人間関係の希薄化、世界的な紛争等など様々な影響を受け、今後も厳しい状況が続くことが予測されます。そのような中であっても私たちが住むこの地域が、安心して暮らせるよう、役職員が一丸となり頑張っていく必要があると考えています。

しかし、社会全体が人材不足となり、その中でも介護職場は最も厳しい職場の一つとなっています。丹後園としても、楽しく働きがいある職場になるよう様々な処遇改善の取組を行うとともに、年間を通した職員募集を行っていますが、思うような採用ができていません。そのため、事業内容の点検による効率化等を行いサービスの継続に努めてきましたが、一部の事業の休止や縮小をせざるを得ない状況となってきており、ご利用者や地域の皆さんには大変なご迷惑やご心配をお掛けすることになると思いますが、ご理解いただきたいと思ます。

そして、一緒に働いてやろうと思われる方がおられましたら、是非とも、お声を掛けていただくことをお願いいたします。

地域の皆さんとの共助の精神を持ち、地域の皆さんと共に歩み続け、地域の皆さんが笑顔あふれるよう、そして「困ったら丹後園に相談しよう」と思っただけのような施設を目指し、頑張っていますので、関係者の皆さんには今後ともご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



社会福祉法人丹後福祉会 事務局長 吉岡喜代和

装飾ブースが完成しました



就職フェア等に参加させていただく中で、丹後園の魅力を伝えるにはどうしたらいいだろうかと試行錯誤していました。そこで、丹後園の職員がキャッチコピーを考え、丹後緑風高校企画経営科の生徒さんにブースを飾るデザインを考えていただきました。その装飾ブースが完成し、先日の就職フェアで使用しました。

たくさんの方と丹後園を結びつけるさわやかなデザインとキャッチコピーとなっています。これからもたくさんの方と丹後園とのつながりがもてますように！



グループホームあみの・ふれあいホームあみの

2月3日は節分。

毎年恒例となっていますグループホームあみのとふれあいホームあみの合同で鬼退治をしました。



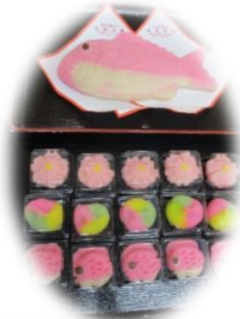
ふれあいホーム桃山

2月2日に浅茂川節分太鼓の皆様に来ていただき、節分太鼓を披露していただきました。昨年に引き続き、今年も迫力のある太鼓の音を間近で聞くことができ、皆さん感動されていました。



特別養護老人ホーム丹後園

丹後園中央ユニットにて100歳の誕生日会!特大の鯛めでめでたい!鯛は生菓子で作ってありユニットみんなで分けて美味しく食べました。



浜詰デイサービスセンター

春分の日、ご利用者さんと一緒に牡丹餅を作りました。慣れた手つきで次々と丸め、若い職員にも手ほどきしてくれました。とてもおいしくできました。



特別養護老人ホーム第二丹後園

日本保険福祉ネイリスト協会の方に来ていただき、希望された方にネイルアート体験をしていただきました。その後も定期的に予約して、ネイルアートを楽しまれているご利用者さんもいらっしゃいます。ネイル以外に美容師さんにも来ていただき、カットや髪染めをされ、嬉しそうな姿を見ていると、こちらまで笑顔になります。

いつまでもオシャレを忘れないご利用者さん!素敵ですね!!



編集後記

暖かくなってきましたが、寒暖差があり、体調を崩しやすい季節でもあります。体調を万全にして、今年度も頑張っていこうと思います。皆様も体調管理に気を付けながら、新生活を元気に過ごしていきましょう。